

やまちゅうスクエア

吹田市立山田中学校 学校だより 令和5年度 第10号

「発想の転換」

校長 小早川 靖樹

先週から今週にかけて、感染症により多くのクラスが学級閉鎖になっています。市内の小中学校でも、感染症による学級閉鎖が急激に増加しているようです。今一度、手洗い、教室の換気等、感染症の予防を徹底し、体調管理に留意してほしいと思います。

先日いつものように校門で皆さんが登校してくる様子を見守っていると、ある生徒が私の顔をじっと見て、「校長先生に会うの久しぶりです…。」と言って校門を通っていききました。確かにその頃は出張や来客などが多くあり、校内を回ることがあまりできていませんでした。私のことを気にかけてくれる、その言葉をとてもうれしく思いました。やはり時間のある時は校内を歩きながら、皆さんの様子を見守っていこうと改めて思いました。

さて、先日受講した研修で、講師の先生のお話がとても印象に残ったので、少し紹介したいと思います。

もしみなさんが、「この辺りのゴミを拾っていいから、千円ちょうだい？」と言われたら、どう思いますか。「この人はいったい何を言っているのだろう・・・」と戸惑うのではないのでしょうか。しかし、オランダのアムステルダムでは、運河のプラスチックゴミを拾う観光ツアーが大人気を博しているのです。

それも、参加者が地元の有志などではなく、観光客がほとんどで、社会活動ではなく純粋に観光として、レクリエーションとして楽しんでいるのです。

参加者が「必死に」なる理由は、2時間のボートツアーが終わり上陸した後、同時刻にツアーをした他のボートと回収したゴミの量を比べ、最も収穫の多かったチームが表彰されるという点です。この資源集め競争としてのゲーム的要素の楽しさが、ツアーの人気の理由だそうです。

自分たちが生活している範囲のゴミを拾うことは当然としても、観光に行つてわざわざゴミ拾いをするという発想には、驚かされました。まさに、「発想の転換」によって、生み出された企画と言えます。

今まで当たり前のこととしてとらえていたことを、考えやものの見方の角度を変えたり、別の観点から見ることによって、新しい何かが見つかることがあります。つまり、「発想を転換する」ことで、今悩んでいる問題を解決することができる可能性があるということです。皆さんも学級活動、委員会活動、部活動などで「発想を転換」させ、新たな取り組みにチャレンジしてみませんか。皆さんの柔軟な思考で、山田中学校をもっともっと素晴らしい学校にしていきたいと思います。

☆久しぶりの「一堂に会する」終業式

新型コロナウイルス感染防止や体育館の大規模工事のためにできなかった体育館での終業式を、2学期末、約4年ぶりに一堂に会して行いました。目に見えないところも含めて大規模なリニューアルが行われ、気持ちのよい終業式となりました。



「みんなが集まることができる」というのはよいですね。いつまでも気持ちよく過ごすことができるよう、丁寧に校舎・体育館を使用するよう心がけましょう。

☆避難訓練

1月19日（金）に、地震を想定した避難訓練を行いました。校舎が揺れて校内放送が入るものの途中で放送が使えなくなる→職員室から教職員がそれぞれの学年のもとに、周りの状況を確認しながら移動して避難の指示をする→生徒や教室にいる教職員は、その情報をもとに避難する…自分を大切に、そして他者を大切に、その時自分はどう行動すればよいのかを、訓練後に一人ひとり振り返りました。



☆「中学生の主張」大会

1月20日（土）に、千里市民センターにて第41回吹田市中学校「中学生の主張」大会が行われました。本校からは、2年生の
さんが「私たちと平和の礎」というテーマで主張を行いました。



夏季休業中に平和大使として参加した経験や感じたことをもとに、平和な世界とは何かを改めて考え、整理したことを主張しました。相手を思いやることの大切さ、「思いやる」という気持ちを日常生活の中でどのように実践するか、具体的な例を示しながら発表しました。